



(7) 具体的な実施内容と成果

研究開発項目1 「知能IoT×リアルタイムエッジ処理」による細粒度ごみ排出量センシング基盤の研究開発

ごみ排出量の収集に関連する機能（GPS、データの配信、蓄積、応用API）を実装し、センシング装置を藤沢市・鎌倉市・横須賀市の清掃車に、合計28台装着し、4地区以上カバーするセンシングプラットフォームを構築した。国際会議の論文2件、一般口頭発表3件、国内研究会1点の発表を行った。

研究開発項目2 ごみ排出・収集・減量の「見える化」を支える解析・応用基盤の研究開発

異分野連携解析可能な仕組みを構築し、応用APIの開発を行った。また、天気、祝日、地理データ3種類の異分野データを連携して、時間、空間、車両の集計合計3種類の解析機能を開発した。また、ごみ排出量利活用するサービスに関して、ごみ排出量集計、統計図、可視化地図など合計3種類を開発した。

(8) 今後の研究開発計画

さらにセンシングプラットフォームを拡張し、長期間のデータセットを作成する。また、ごみ管理・収集・排出の関係者と交流し、利活用のサービスを開発し、実装実験によって、有効性を評価する。